

第4回 生活部会 報告書

令和7年12月18日

開催日時	令和7年12月18日(木)13:30~	場 所	千曲市ふれあい福祉センター 四階会議室
部 会 員	稻荷山太陽の園/ともいきライフ月影/いなりやま福祉会はなたば/いなりやま福祉会グループホーム/地域生活支援センターCoCoちくま/しののい福祉会ボスケット/千曲市手をつなぐ育成会/歩夢ヘルパーステーション/千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター/坂城町福祉健康課/千曲市福祉課		

出席16名

(1) 報告事項、ほか

◆基幹相談支援センターより

12月13日(土)に開催された全大会について、運営スタッフ、ボランティアの協力もあって滞りなく終えることができた。
1月の協議会だよりに全大会の詳細が記載される。

(2) 協議事項 および 内容

◆グループワーク1

出席者を4つのグループに分けて以下の2つの議題に沿って意見交換をし、最後に各グループで話し合った内容を全体に向けて発表した。各議題に関する主な意見は以下のとおり。

「1. 第2回、第3回の研修についての感想」

- ・各専門職の役割について現場の職員に知つてもらう良い機会となった。
- ・個別支援計画についての理解が職員によって異なると感じた。
- ・個人ではなくチームとして機能するようになれば良い時間が生まれると感じた。
- ・輪つかづくりの簡単な作業でも目標設定がしっかりしていることが大事だと思った。

「2. 研修を経て、事業所で活かせた点と成果について」

- ・記録について、記録者にサンプルを参照したところ、記録方法の指針が立つて分かりやすくなつたという声があつた。
- ・上司と話す機会がないなど、職員間での話し合いができるないのが課題として残る。
- ・一人一人の世話人さんとしっかり話をする機会を持ち、日頃の思いを聞くことができた。
- ・担当の利用者の支援内容について支援者間で積極的に情報共有するようになった。

◆グループワーク2

グループワーク2を実施する前に、基幹相談支援センターより千曲・坂城地域自立支援協議会の見直しについて説明があつた。説明を踏まえ、グループごと意見交換をし、最後にその内容を全体に向けて発表した。それぞれの内容は以下のとおり。

「千曲・坂城地域自立支援協議会の見直しについて」(基幹より説明)

千曲・坂城地域における専門部会が長野県自立支援協議会の専門部会と連動しておらず、県の協議会専門部会からの調査への対応が難しいという現状がある。また、人口規模に対して協議会の専門部会の数が多い、協議が必要なのに該当する部会がない等の課題もあり、自立支援協議会の見直しを行っていきたい。それに伴い、生活部会に関しては年5回程の開催であったが来年は年2~3回程の開催とし、協議会の見直しに力を入れて取り組んでいきたい。

「来年度、生活部会としてどんなことに取り組みたいか。今後、求めるもの。」(グループワーク)

- ・高齢化の課題に対して、人材面や施設整備などの対策を考えるような機会が欲しい。
- ・在宅介護の支援状況を把握したり学べるような機会が欲しい。
- ・災害時の対応について訓練等取り組みたい。
- ・困ったことを相談したり、他機関と情報共有できる場が欲しい。
- ・権利擁護、地域移行について取り上げたい。
- ・就労支援事業所とGHの利用者の生活に対する温度差を埋めたい。
- ・人材育成に繋がる学びの場となってほしい。

予定した内容はすべて完了した。

地域連絡会で検討したい課題〔千曲・坂城地域自立支援協議会の見直しについて〕

(4) その他 (お知らせ・次回開催日など)

- ・さんきゅーあーと展について、各事業所より作品が集まって来ている。
- ・第5回生活部会は、2月6日(金)13時30分から。